



戸畑中央小 No.13 R4. 2. 25

学校だより

発行者 校長 新森修二

仲間

貢献

自律・自立

尊敬

感謝

子ども達の健全な発達を願っています。

4年生が、運動場で体育の学習をしていました。「ハンドベースボール」です。バッターは、(バッティング) ティーの上にあるボールを打った後、1塁方向にある三角コーンを回って、ホームに戻ってきます。守備は、ボールを拾うとみんな集まり、一斉にしゃがみ込みます。バッターがホームに戻る前にしゃがむことができればアウト。間に合わなければ1点となるルールです。みんなで協力しながらゲームを楽しんでいました。



さて、本年度の体力テストの結果が戻ってきました。

コロナ禍によって、子ども達の遊びや運動の機会が減って、体力が落ちているように感じます。

また、本年度の校内での怪我にも変化が見られました。怪我の件数が増えるとともに、「これまでだったら怪我にならなかったのでは」と思うような怪我が増えたそうです。やはり、体力の低下が原因の一つとして考えることができそうです。

2年前、PTA「子育て研修会」で九州歯科大学 吉野賢一先生のお話を伺いました。脳の発達に関わるお話でした。その中で、印象に残っていることですが一部を紹介します。

脳は18歳までに急激に成長します。この間に、様々なことができるようになります。だから学ぶことが必要なのです。この時期を臨界期と呼びますが、この時期に目が悪くても眼帯をしません。見えなくなります。脳の急激な発達の中で、目を片方使わないことが発達に影響を与えるからです。

また、食事について言うと、人間だけが食べる時に目と目を合わせます。顔を見て食べるのは人間だけです。ですから子どもの脳に必要なのは、「顔を見て、人としての心を、感情・行動の抑制・制御を学びながら、よく注意して記憶して食べる環境」です。「食時（この時間を大切にの意味）、居間で、食卓でそろって（心を通い合わせて）」で子どもを育みましょう。

このお話は、新型コロナウイルスが蔓延する以前のお話でした。

約2年に及ぶコロナ禍で過ごした子ども達。十分な運動の機会が得られなかったり、マスクで顔が隠れた状態で過ごしたりしたことが、子ども達の体力、そしてコミュニケーション能力の発達にどのような影響を及ぼしているのか、改めて心配になりました。

心配ばかりでは何も始まりませんが、感染拡大防止に努めながらも、その中でできることを工夫していきたいと思います。

3月4日（金）には、「6年生を送る会」を計画しています。各学級からオンラインで6年生にメッセージを送る予定です。5年生がすべての準備を進めてくれています。

学校全体の子ども達の心が感謝の気持ちで一つになれば、そしてそれが子ども達の心の健全な発達につながればと願っています。

3月の行事予定

2月

28日（月）下校時刻 変更（～3月4日まで）

3月

1日（火）スクールカウンセラー来校

3日（木）クラブ活動（まとめ）
委員会活動（まとめ）

4日（金）6年生を送る会

15日（火）スクールカウンセラー来校

16日（水）6年生修了式
卒業式の式場設営

17日（木）令和3年度卒業証書授与式

21日（月）春分の日

22日（火）スクールカウンセラー来校

23日（水）給食終了
大掃除

24日（木）修了式・離任式

※ 令和4年度1学期の始業式は、4月7日（木）です。

※ 入学式は4月12日（火）です。